

# 病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月の予報

平成15年度 予報第8号

# 東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

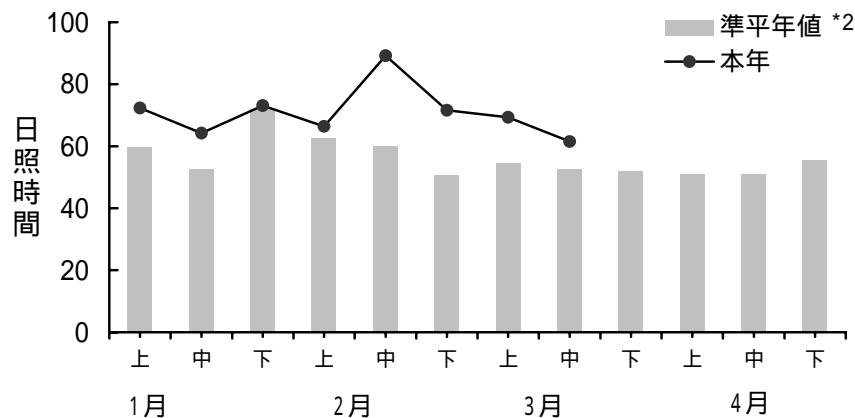
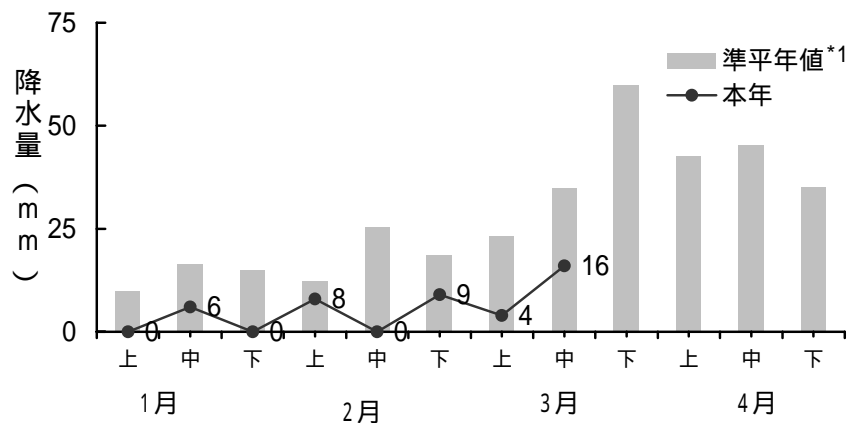
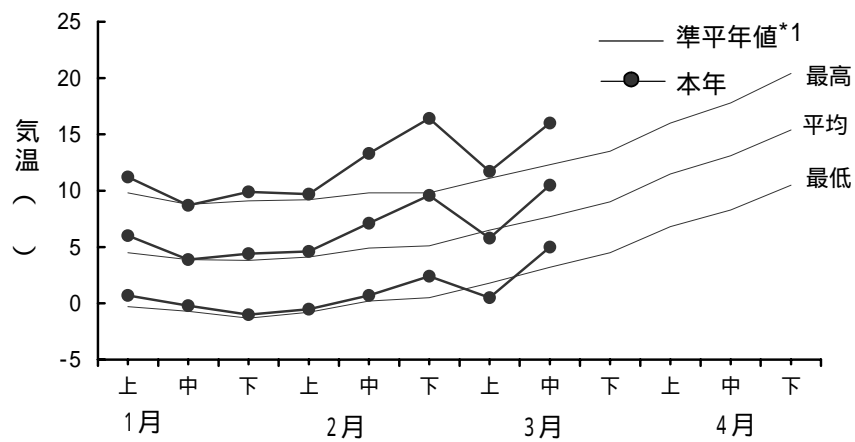
<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成16年3月19日 気象庁 気候・海洋気象部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	50	30
	降水量	30	40	30
	日照時間	40	40	20

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の3月中旬までのデータを示した。  
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



\*1: 1979-2000の平均値, \*2: 1987-2000の平均値

近年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかとなり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、2002年12月に農薬取締法が改正され、2003年3月10日からこの改正法が施行されました。主な改正点は、

**無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）**

**農薬使用基準に違反する農薬使用の禁止**

**罰則の強化など**

であり、農薬を製造・輸入・販売・使用するすべての国民に関係する内容です。

農薬は農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>）の「農薬コナ」をご覧ください。

【病害虫発生予報】（各根拠に記した( )内記号は発生助長要因の強度を示す）

### ・果樹の病害虫

#### (1) ナシ赤星病

予報内容

発生時期 並  
発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 昨春の発生はやや少なく、越冬菌密度はやや少ない( - )
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される( ± )

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除基準に従い適期を逃さないように防除する。

### ・茶樹の病害虫

#### (1) カンザワハダニ

予報内容

発生量 やや多～多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、寄生葉率が0～26%と調査定点の平年値3.1%よりも高い地域が多かった( + )
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される( ± )

防除上考慮すべき事項

- 1) 4月中旬より個体数が増加すると考えられるので、萌芽前に防除基準に従い防除する。
- 2) その他については、平成15年度注意報第3号(3月19日発令)を参照。

### ・野菜の病害虫

#### (1) トマト灰色かび病(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である( ± )
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される( ± )

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病果実などを施設内に放置しない。
- 2) 防除基準に従い防除する。

(2) トマト葉かび病(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である(±)。
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除基準に従い防除する。

(3) ネギさび病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない(-)。
- 2) ここ数年、本病は発生が少なく、越冬菌密度は低いと考えられる(-)。
- 3) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生初期に防除基準に従い防除する。

(4) コナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 予察圃場におけるトラップの誘殺数は平年よりも少ない(-)。
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 苗圃では、防虫網などを利用して、成虫の侵入を防止する。
- 2) 防除基準を参考にして、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

(5) オンシツコナジラミ(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると寄生葉率は18%と平年並である(±)。
- 2) 今後気温の上昇とともに増加時期に当たる(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除基準に従い防除する。

(6) ミカンキイロアザミウマ(施設)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると、施設での発生は少ない(-)。
- 2) 気象予報によると気温、降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 育苗中に防除を徹底的に行い、本圃へ寄生苗を持ち込まない。

(7) ハモグリバエ類(施設)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると施設のコマツナ, 育苗期のブロッコリーなどで, ナモグリバエの発生は少ない(-)。
- 2) ハウストマトや育苗中の果菜類などのハモグリバエ類の発生は少ない(-)。
- 3) 気象予報によると気温, 降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除基準に従い防除する。

(8) ホウレンソウおよびコマツナのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると各地の露地栽培での寄生虫数はやや少ない(-)。
- 2) 気象予報によると気温, 降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除基準に従い防除する。

(9) ネギ・タマネギのネギアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によると各地の寄生株率は0~40%, 平均22.5%と昨年と比べてやや少ない(-)。
- 2) 気象予報によると気温, 降水量とも平年並と予想される(±)。

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除基準に従い防除する。
- 2) ネギアブラムシは萎縮病を媒介するので注意する。

東京都病虫害防除基準：最新版をご覧ください

平成16年度版は4月中旬刊行予定です

防除基準オンライン版では平成16年度版を公開中です

(防除基準正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネット上の防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病虫害の発生予報, 発生状況, 防除方法  
などをお知らせしています。